

つくば市議会だより SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

9月定例会議 No.183

令和6年(2024年)12月1日発行
発行：つくば市議会
編集：広報広聴委員会

一般質問・賛否一覧	P 2~6
議決結果	P 7
予算決算委員会審査	P 8~9
委員会審査・議案等審議	P10
特別委員会中間報告	P11
特集	P12

令和5年度決算審査から令和7年度の取り組みへの提言を市長に提出しました！

議会のチェック機能を強化することを目的として、決算審査において各分科会で審査し、選定事業に対して提言しました。

▶ 提言内容は市議会 HP から >>



▶ 部活動地域移行事業

総務文教分科会

▶ 高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業

福祉保健分科会

選定事業

市民経済分科会

都市建設分科会

▶ 地区交流センター機能拡充事業

▶ 道路・街路河川等整備事業
▶ 道路・街路維持事業

議場に大型ディスプレイを設置しました！

議場内前後2カ所に大型ディスプレイ（110インチ）を設置しました。

今回設置されたディスプレイは、本会議で質問や質疑を行う議員の様子を傍聴者に分かりやすく表示するものです。また、一般質問などで議員が使用する資料をディスプレイに投影したり、電子採決結果を映し出したりするなど、議事の内容をリアルタイムで表示することにより分かりやすい本会議の運営を図ります。



つくば市議会チャンネル
YouTubeで動画を配信しています



チャンネル登録をお願いします

令和6年第1回定例会 会期日程

令和6年4月19日から令和6年11月29日

9月定例会議ハイライト

一般質問 18名の議員が白熱の議論を展開
議案審議 議案など31件、請願5件、意見書案2件を審議

12月定例会議開催予定

12月5日(木) 開会・正副議長選挙など
6日(金) 議案上程
13日(金) 一般質問
16日(月) 一般質問
17日(火) 一般質問・総括質疑
18日(水) 予算決算委員会(総務文教・福祉保健) 総務文教委員会・福祉保健委員会
19日(木) 予算決算委員会(市民経済・都市建設) 市民経済委員会・都市建設委員会
24日(火) 予算決算委員会
26日(木) 討論・採決・散会



つくば市議会だよりが
スマートフォンで読めます
マチイロ





きむら しゅうじ
木村 修寿 議員

(自民党政清クラブ)



つくばエクスプレス東京駅延伸について

(質問) 東京駅延伸を巡っては、国土交通省の交通政策審議会が 2016 年に国に答申している。①車両の 8 両編成化について進捗状況を伺う。②東京駅延伸の実現に向けた期成同盟会を設立することについて伺う。

(答弁) 車両編成 8 両化に向けたホームの延伸工事の進捗状況については、首都圏新都市鉄道株式会社からは、秋葉原をはじめ地下の 7 駅で完了しており、今後の延伸工事は 2030 年代前半で完了すると伺っている。つくばエクスプレスの東京駅延伸の実現に向けた期成同盟会の設立については、都心部・臨海地域地下鉄構想とつくばエクスプレスの東京駅延伸との一体整備を図るため、つくばエクスプレスの沿線自治体の首長が合意したものである。同盟会の構成員は沿線自治体の首長に加え、市議会議員、県議会議員などを想定しており、設立は年内を予定している。

(要望) 都心部・臨海地域地下鉄構想の事業計画案が公表されるなど、事業化の推進が進む中、東京駅延伸についても、実現に向けて強く要望する。また、つくばエクスプレスの混雑率は増加傾向にあり、車両の 8 両編成化 事業の早期実現を要望する。



このほか、保育士の配置基準、高山橋附近の道路改良工事について質問した。



やまなか まゆみ
山中 真弓 議員

(日本共産党つくば市議団)



市水道事業の財政は豊か 値上げの必要はない

(質問) 老朽管やポンプの更新に当たる施設改良費予算が令和 3 年度から増加しているのに、決算額が増加していないのはなぜか。また、施設改良費の財源は何か。

(答弁) 施設改良費の予算額が増加しているにもかかわらず、決算額が毎年ほぼ同額である主な理由については、中央配水場と君島配水場のポンプ設備や電気設備などの大規模な更新工事について、それぞれ 2 か年の継続事業として予算計上したもので、近年の半導体不足により電気設備の製作に期間を要したことなどから、繰越事業となったため決算額に反映されていないためである。完了する年度には予算を執行し、決算額に計上されることから、最終的には予算額と決算額がほぼ一致することとなる。財源については、配水場のポンプ更新事業であり、国庫補助対象外の事業であることや、企業債残高抑制のため、自己財源を充てている。

(要望) 通常 40 年更新とされる水道管路が、100 年使用できると国土交省が示している。料金値上げをし、急いで工事を進める必要はないと考える。一方、純利益も約 8 億円となり、施設改良費を自己財源で賄えるほど財政は豊かである。後世の市民も使う施設には企業債もあて、値上げを抑えるべきである。

このほか、生活保護に係る扶助費の誤った支給及び不適切な事務による国庫負担金の過小請求、市内就農者支援、地産地消の促進および米不足、給食費の無償化について質問した。



かわくぼ みなみ
川久保 皆実 議員

(つくばチェンジチャレンジ)



公営児童クラブで学校休業日の早朝開所を!

(質問) 公設公営児童クラブについて、①学校休業日の開所時刻を午前 8 時よりも早める必要性、②閉所時刻を一律午後 7 時までとする必要性についての市の見解を伺う。

(答弁) ① 公営児童クラブの学校休業日における開所時刻については、民営児童クラブの行う早朝保育などの独自サービスを公営児童クラブが同様に実施することで、民営児童クラブの経営に影響を与えてしまう懸念があること、放課後児童支援員の確保が困難であることから、これまで開所時刻を早める対応はしていなかった。一方で、一定の保護者ニーズがあることを認識しているため、開所時刻を午前 8 時より早めることの検討を行う。② 公営児童クラブの閉所時刻については、地域の実情に合わせて午後 6 時 30 分と午後 7 時の 2 通りで運営している。一定の保護者ニーズがあることを認識しているため、今後、閉所時刻を午後 7 時にすることの検討を行う。

(質問) 具体的な検討スケジュールについて伺う。

(答弁) 開所時刻を午前 8 時より早めることおよび閉所時刻を午後 7 時にすることについて、制度設計や人員確保方策などの検討を行い、実施することを前提に来年度末までに詳細を決定していく。

このほか、公立保育所の児童抜け出し防止対策・紙おむつのサブスク、市営公園における複合遊具・バスケットゴールの設置、幼児 2 人同乗用自転車購入費補助事業などについて質問した。



こくぼ たかし
小久保 貴史 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



道の駅の検討状況について

(質問) 道の駅に関する調査や検討状況について伺う。

(答弁) 道の駅の検討状況については、昨年度、経済部各課の若手職員による道の駅勉強会を設置し、他自治体の道の駅の視察やヒアリングなどを行い、道の駅に必要な機能、用地面積、事業方式などを検討してきた。現時点では、庁内の検討チームで 4 カ所を候補地とし、今後検討を深めていくこととしている。これらを踏まえ、令和 6 年度、立地、商圈、類似店舗、需要、経済波及効果の観点から、道の駅としてのポテンシャル調査を行っていく。こうした調査結果などを基に、道の駅整備を推進していく。

(質問) 選定した 4 箇所の候補地について伺う。

(答弁) 候補地については、あくまで現時点の案となるが、国道 125 号バイパス沿いの池田地区、西大通り沿いの松野木地区、(仮称) つくばスマートインターチェンジ付近の島名地区、国道 6 号バイパス地区の菅間地区の 4 カ所を案として考えている。これを基に、今後、議論を深めていきたいと考えている。

(要望) 地方創生・観光・農業・防災など多機能を有する道の駅の検討を要望する。

このほか、国道 125 号バイパスの整備促進、地産地消 [Farm to Table つくば]、空家バンク制度や空家活用補助金について質問した。



おの やすひろ
小野 泰宏 議員

(公明党つくば)



■ 今後のつくば市の地方創生について

(質問) つくば市は人口増加が続いてきたが、今後は人口増の状況について注視していくことや自然動態については、つくば市も厳しい状況にあることなど、いくつかの論点や課題もある。そこで約 10 年の地方創生の取り組みを踏まえ、今回取り上げた人口動態や創業支援、若者の就業支援という視点も含めて、今後のつくばのまちの活性化や、つくばで暮らすことの魅力や価値を高めることについて市長の見解を伺う。

(答弁) つくば市では平成 27 年の 10 月のつくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定から現在に至るまでさまざまな取り組みを行い、人口増加や新規創業数の増加に繋がっている。しかし、人口動態の変動や出生率の低下、市内大学生の就職状況など課題も多い。人口動態については、自治体のできることに限界を認めてはならないと考えており、社会動態に対する施策が自治体としてできることだと考えている。出生率の低下は国家的なトレンドでありつくば市も同様だが、これに抗うことがつくば市の使命である。そのために、つくば市の魅力をアピールし、就職や創業者数を増やし、スポーツや芸術の環境を充実させることに加え、つくば市の存在意義である科学技術で新しい挑戦を示す覚悟が求められている。困難でもチャレンジを続け、日本や世界に未来を示すことが、人々がつくばで暮らす、子どもを産むということに繋がっていくと思っている。そのようなまちを目指し、今後も全力で取り組んでいきたい。

このほか、公共交通について質問した。



はしもと けいこ
橋本 佳子 議員

(日本共産党つくば市議団)



■ 市内中小・零細企業の支援で地域経済活性化を

(質問) ①つくば市安心住宅リフォーム支援補助金は、市内に本店のある事業所に 50 万円以上のリフォームを依頼した場合 10 分の 1 を補助する制度である。住環境の維持と市内業者の仕事を増やし地域の活性化に貢献する支援制度であり、予算を使い切っている。予算拡充が必要と考えるがいかがか。②入札資格のない事業所を支援する小規模修理・修繕契約希望者登録制度の予定価格を 50 万円から 130 万円に増額し公共の仕事の発注を拡大することが必要と考えるがいかがか。

(答弁) ①つくば市安心住宅リフォーム支援補助金は、新耐震基準により建てられた住宅を対象に、市内に本店を置く建設業者と 50 万円以上のリフォーム工事を契約した場合、工事費用の 10%、上限 10 万円を補助するものである。令和 3 年度の 50 件を除き、毎年度 100 件分、1,000 万円の予算を確保してきた。補助件数の拡大については、今後の申請状況や要望などを踏まえ検討していく。②小規模修理・修繕契約希望者登録制度の予定価格を 50 万円未満にしている理由については、地方自治法施行令で、支出科目が需用費、役務費または備品購入費である修理・修繕、取替えなどの随意契約は、50 万円を超えることはできないと規定されているためである。



このほか、全国的に増えている乳幼児の施設・児童クラブでの事故に対する公立の役割・市の責任について、公営住宅の入居に際し保証人の必要性はなくなっていること、安定的な住まいを保障するための家賃補助制度の創設について質問した。



あさの えくこ 議員

(つくば市民ネットワーク)



■ 公立幼稚園のあり方検討を！

(質問) 公立幼稚園 15 園のうち手代木南、荃崎で 3 年保育を開始することになった経緯と評価を伺う。

(答弁) 経緯としては、公立幼稚園の園児の保護者や幼稚園教諭からニーズがあったこと、幼児教育・保育の無償化の影響による公立幼稚園の入園児数の減少傾向を踏まえ、試行的に開始した。評価については、3 年保育を実施した各幼稚園から、集団生活を早くから経験することで、身辺自立が早くなった、想像力が豊かになった、健康的になり幼稚園の出席率が高くなったなどの報告を受けている。教育局でも、定員確保に関し一定の成果があったと考えている。

(質問) 3 年保育開始前に保護者に行ったアンケート結果では 88% が 3 年保育を望んでいた。今後の 3 年保育の拡充検討について伺う。

(答弁) 今後 3 年保育を経験した子どもたちが出てくるため、その保護者を対象にしたアンケートを取るなどし、改めての検討をしていきたいと考えている。

(質問) 保育認定が受けられない保護者も多く、水戸市や明石市のように幼稚園型認定こども園に再編する動きもある。今回の学区審議会中で公立幼稚園のあり方について検討していただきたいがいかがか。

(答弁) 学区審議会では、幼稚園区そのものをどうするか議論しなければいけないと思う。併せて、市が中心となり、こども部と連携しつつ、今後公立幼稚園をどうしていくか議論していきたい。

このほか、つくば市ソーラーシェアリングガイドラインの今後の運用について質問した。



しおた ひさし
塩田 尚 議員

(山中八策の会)



■ 「日本の都市特性評価」でつくば市が 8 位に！

(質問) 全国の政令指定都市・県庁所在都市、人口 17 万人以上の 136 都市の特性や魅力を客観的に分析しランク付けしている「日本の都市特性評価」が令和 6 年度発表され、つくば市は昨年 11 位から 8 位へとランクインを果たした。上位を占めているのは政令指定都市と県庁所在都市ばかりで、普通都市の中ではつくば市が全国 1 位となった。輝かしい結果であるが、これは五十嵐市長への通信簿でもある。高い評価を頂いた事への分析、および今後の取り組みを伺う。

(答弁) 複数の専門家が詳細な項目を定量的、定性的に評価している森記念財団の都市特性評価で、つくば市が全国で総合 8 位、一般市で 1 位の評価を受けたことは素直に嬉しく思うが、ランキングの中身の分析も重要である。つくば市はフレキシブルワークスタイル実施率で高評価を得ており、これは感染症以降のまちに適応できた評価であるとする。政治は変化する社会に迅速に対応し、次の時代を見越した施策を打つことが求められる。その意味で、つくば市の取り組みが評価されていることを受け止めている。一方で、文化・交流、環境、交通・アクセスなどの項目ではまだ高評価に至っていないため「世界のあしたが見えるまち」を目指し、さらなる取り組みが必要である。一般市で全国 1 位の評価を受け止めつつ、課題を認識し、つくばだからこそできることを考えていく。例えば、退職金のインターネット投票に関しては、この投票のためだけにつくばに移住したいという声もあり、チャレンジを続けるというのはこういうことだと考えている。今回、規制緩和の項目でも評価を受けており、引き続き努力する所存である。



みながわ ゆきえ
皆川 幸枝 議員

(つくば市民ネットワーク)



■ 会計年度任用職員の正規採用を！

(質問) 市の会計年度任用職員は、全職員の約 4～5 割を占め、臨時的な業務でなく、定常的な業務の職員もいる。定常的に必要な職種については、雇用の安定性の確保、男女の賃金格差の解消、また行政サービス向上の点からも、正規職員として採用していくべきと考える。会計年度任用職員の中で 3 年を超えて同じ職種で雇用されている人数や職種、および、定常的に必要な業務職種について来年度から正規採用を増やしていく考えについて伺う。

(答弁) 会計年度任用職員の中で、3 年を超えて同じ職種で雇用されている者の職種およびその人数については、事務補助員、特別支援教育支援員、放課後指導員、担任保育士などの職種で多くの会計年度任用職員が継続的に任用されている現状にあり、全体では 54 職種 864 人である。定常的に必要な職種の募集については、各部署の意見を聴取するとともに、継続的な業務か、正規職員で対応すべき業務内容かなどを加味しながら、総合的に判断し、採用計画を作成している。会計年度任用職員の専門職種を正規職員にできない明確な規定などはないが、正規職員が担うべき業務は、期間や継続性のみでなく、内容や責任の程度を踏まえて判断すべきと考える。なお、近年では保育士や保健師などの専門職の採用を積極的に行っており、6 年間で 63 人増加している。定常的に必要な職種における正規職員の採用を増やしていくことについては、令和 7 年度の中途採用以降の採用計画の中で検討していく。

このほか、公共施設へのエレベーターの設置、水道事業の福祉政策について質問した。



かわむら なおこ
川村 直子 議員

(つくば市民ネットワーク)



■ 公共施設をもっと使いやすく！

(質問) 地域交流センターおよび類似の公共施設利用について、市民の活動やコミュニティづくり支援が望まれる。「公共施設インターネット予約システム」が使いづらく、システムに入っていない施設もある。改善への検討状況を伺う。

(答弁) 公共施設予約システムについては、課題や改善の要望などがあることは認識をしている。デジタルガバメント推進方針のアクションプランにも、当該システムの見直しを施策として掲げており、具体的には、令和 5 年 7 月に、システムを利用する関係各課の職員をメンバーとしたワーキンググループを立ち上げ、現行システムの課題整理や施設利用者および施設管理担当者へのアンケートを実施するとともに、全国の自治体における導入実績などを踏まえ、より利用しやすい公共施設予約システムの検討を進めている。

(質問) 利用者への対応についての新規配置職員への研修内容を伺う。

(答弁) 地域交流センターに配属される職員には、地域交流センターの概要や現状、課題などを共有するため説明会を実施している。また、相談業務に関する研修会を実施して、職員の能力向上に努めている。

(要望) 市民への情報提供や積極的な利用者への声かけ研修も行い、相談および居場所機能の充実を要望する。地域交流センターになり 13 年経過した。役割や在り方を考える時期にあると指摘する。

このほか、不登校支援策について質問した。



きむら きよたか
木村 清隆 議員

(清郷会)



■ (仮称) つくば市陸上競技場整備について

(質問) (仮称) つくば市陸上競技場整備に関して、①整備計画の進捗状況について②児童生徒や先生方に対する説明会について③旧上郷高校体育館の保管されている防災備蓄品について伺う。

(答弁) ①(仮称) つくば市陸上競技場整備基本計画は順調に進んでおり、令和 6 年 6 月に既存校舎等の解体設計業務に着手し、工事は令和 7 年度に行う予定である。令和 6 年度から令和 7 年度にかけて行う基本設計と実施設計については、公募型プロポーザル方式により 8 月に事業者を選定し契約を行っている。令和 8 年度から令和 9 年度に建設工事を行い、令和 9 年度末に供用を開始する予定である。②解体工事に係る説明会は年度内に、建設工事に係る説明会は令和 7 年度内に実施する予定である。説明会の際は、市広報紙や市ホームページでお知らせするとともに、周辺の学校や保育所等へ通う子供の保護者にも周知を図る。③旧上郷高校に保管されている防災備蓄品は、食料品、飲料水、毛布、パーティション Tent、折り畳みベッド、携帯トイレや生理用品等の衛生用品、ブルーシートなどである。これらは、陸上競技場の整備に伴う体育館の解体時期に別の場所に移す。最終的には、高工ネ研南側の防災拠点に整備される防災倉庫に移すが、倉庫が完成するまでは民間事業者の倉庫を賃借して保管する予定である。



全体鳥瞰図

このほか、県道赤浜谷田部線(県道 133 号)バイパス整備、犬猫に関する補助事業、旧豊里庁舎の利活用について質問した。



はまなか かつみ
浜中 勝美 議員

(公明党つくば)



■ 带状疱疹ワクチンの予防接種について

(質問) 带状疱疹は、50 歳代から発症率が高くなり、80 歳までに 3 人に 1 人が発症すると言われている。带状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされ、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。各地方自治体において、独自に公費助成を導入するケースが増え本年 8 月時点で、全国 707 県内 15 自治体で導入が進んでいる。带状疱疹ワクチン予防接種助成の取り組みについて伺う。

(答弁) 带状疱疹ワクチンについては、重症化予防の観点から、厚生労働省の専門委員会において、定期接種に用いるワクチンとする方向で審議されている。さらに、定期接種に向け、開始時期などの詳細について検討を進められている。市では、継続的に国の動向を注視しており、定期接種が決まり次第、速やかに接種費用を助成するとともに、医師会と連携しながら、接種が実施できるよう準備していく。

(質問) 定期接種化された場合の周知の方向性について伺う。

(答弁) 定期接種が開始となった場合の周知方法については、接種希望者全ての方に周知漏れがないよう、対象者全員の方に個別通知を行うほか、带状疱疹の予防の対策も含めて、市広報紙や市ホームページなどで広く周知していく。

このほか、国民健康保険の運営に関して、被保険者数の推移・今後取り組む事業、農業支援対策に関して、地域計画作成・遊休農地対策の取り組みについて質問した。



いいおか ひろゆき
飯岡 宏之 議員

(自民党政清クラブ)



■ **オンデマンド型移動期日前投票導入は時期尚早!**

(質問) 10月の市政を左右する市長・市議会議員選挙にオンデマンド型移動期日前投票を導入するというのは、選挙管理委員会の時期尚早であると、全会一致の否決になるのも当然かと思う。市としても、その結果を受けて導入は見送るということは妥当な判断だと思う。この結果についての市の反省点と今後の改善計画について伺う。

(答弁) これまでも選挙管理委員会と協議を重ねながら、令和6年1月に一部地域の実証、さらに8月に市内全域で実証を行ってきた。市内全域での実証は、利用者のニーズがあることをしっかりと確認したとともに、運営面についても予定していた全ての地点に遅れることなく到着し、投票も予定どおり実施することができた。また、令和6年9月2日の選挙管理委員会では、この実証実験の報告書を説明し全ての疑問にお答えした。これまで選挙管理委員会の提言を受け、それに対応して課題を解決してきたとの認識だが、理解を得られなかったので今後も選挙管理委員会とのコミュニケーションを続けていくことが必要と考えている。また、改善計画については、既に体制設備の面で、実際の選挙での導入は可能となっている。今後も、国政選挙、地方選挙問わず、選挙に行きたくても行けない人の期待に応えられるよう、実施に向けて検討調整を続けていきたいと考えている。

このほか、防災拠点の早期建設に向けての現在の進捗状況について質問した。



つかもと ようじ
塚本 洋二 議員

(自民党政清クラブ)



■ **小中学校など教育施設の安全対策について**

(質問) 市内の学校は、建設した年代や地域、敷地の形状、建物の大きさ、児童生徒数もさまざまに違いがある。各学校による安全対策もあると思うが、学校敷地内への不審者侵入防止対策について、①不審者などを発見するための体制、②侵入時の教職員と児童生徒が行う対応、③侵入防止対策について伺う。

(答弁) ①不審者を発見する体制として、来訪者の把握のため、防犯カメラを複数設置し、昇降口などを施錠し、来訪者の動線や出入口を限定している。さらに、来訪者にはインターホンの利用や来訪記録簿への記入、名札の着用を求めている。このほか、教職員が休み時間などに巡視を行う中で、不審者の有無を確認している。また、警察などと連携し不審者侵入を想定した訓練を実施し、不審者対応は日常に起こり得るという意識を持てるよう努めている。②不審者侵入時は、各学校の危機管理マニュアルを基に対応している。教職員の声かけや児童の報告で事態を把握し、直ちに管理職に共有し、不審者侵入を校内放送などで知らせる。教職員はマニュアルに沿って安全を確保し、警察などと迅速に連携を図る。児童生徒は屋外に避難し、状況によって教室に机や椅子などでバリケードを築き、身を守る。③侵入防止対策については、門扉やフェンス、防犯カメラを設置した。学校施設の形状で門扉やフェンスを設置できない場合は、防犯カメラを重点的に設置した。また、さすまたも複数配備した。夜間休日などは、警備業務を委託している。

(要望) 侵入や不審行動検知機能、解析機能などがあるAI防犯カメラの研究、検討をお願いする。ぜひ着実な取り組み、支援を要望する。



こもりや さやか
小森谷 さやか 議員

(つくば・市民ネットワーク)



■ **ワクチンによる健康被害に寄り添った支援を**

(質問) 新型コロナワクチンによる健康被害の可能性があると認定された件数はコロナワクチン接種開始前の数字を大きく超えている。つくば市予防接種健康被害調査委員会の開催、請求、認定状況を伺う。

(答弁) 新型コロナウイルスワクチン接種に関わる予防接種健康被害調査委員会は、令和3年度から現在までに6回開催している。請求件数は、現在のところ24件である。国の審査による認定状況は、請求件数のうち、健康被害が認定された件数が10件、認定されなかった件数が3件、判定待ちが8件となっている。なお、請求件数のうち3件については、国への進達を準備している。

(質問) つくば市では直近までに国に24件を請求しているとのことだが、申請に至っていない数を含めた相談件数はどのくらいか。

(答弁) 新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種の健康被害救済制度に関する相談件数については、8月までの件数で73件となっている。

(要望) 手数料の一部補助や、医療機関とのやり取りを代行する支援を始めている自治体もある。つくば市においても、もう一步寄り添った支援を求める。

このほか、今後回復すべき子どもの健康について質問した。



くろだ けんすけ
黒田 健祐 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



■ **住宅需要について**

(質問) TX沿線開発地区の人口を見ると研究学園地区の定着率は8割を超え、またみどりの地区も8割に迫る勢いである。今後も人口増を維持するためには、多様な住宅需要に応えるための方策が必要と感じている。市の見解と今後の対応について伺う。

(答弁) 多様な住宅需要に応えるための方策については、市街化区域及び区域指定の拡大などがある。市街化区域の拡大については、おおむね10年後の人口見通しや市街化区域内の低未利用地の状況などを基に検討することになる。現在、TX沿線開発5地区のうち2地区で土地区画整理事業が施工中であることから、これらの地区で市街地形成を図ることが優先となるため、住宅系市街地拡大の予定はないが、今後、土地利用の動向を注視し、必要に応じて検討をする。また、区域指定の拡大については、平成19年の施工当時、TX沿線開発地区への影響も考慮し、当該地区から1kmの範囲は指定対象外としていた。現在、葛城地区については、土地利用が進んでいるため区域指定拡大の検討を行っている。



このほか、観光行政について質問した。



なかむら しげお
中村 重雄 議員

(新緑会)



■ 防災教育について

(質問) 令和 6 年 4 月に「スポーツの普及および地域の振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな地域社会の形成に寄与するとともに、つくば市小学校、中学校および義務教育学校における授業を行うこと」を目的にみどりのプールが供用開始された。土地購入費用を含め約 35 億円かけて整備したみどりのプールは学校利用も含め市民の皆様にとってより良いものにしていかなければならないと考える。
①学校利用について②一般利用について伺う。

(答弁) ①水泳授業については、1 学級当たり 1 日 3 時間の授業を年 3 回、年間 9 時間実施している。これは校内にプールが設置されている市内学校と同程度の平均授業時間数である。授業内容についても、校内にプールが設置されている市内学校と同様に、水に慣れる活動や泳力に応じたグループごとの活動などを行っている。授業の実施時期は、校内にプールが設置された学校ではおおむね 6 月下旬から 7 月中旬である。みどりのプールでは年間を通じて水泳授業を実施することができるため、夏季休業日を除く 5 月から 12 月までの期間に水泳の授業を実施している。各学校の希望を考慮して実施計画を立てている。
②一般利用状況については、令和 6 年 4 月 27 日から 8 月 31 日までの期間で、18 歳未満の子どもが 9,447 人、18 歳以上 65 歳未満の大人が 1 万 1,208 人、65 歳以上の高齢者が 2,386 人、障害者が 368 人、合計 2 万 3,409 人の利用があった。

このほか、公立幼稚園送迎バスの運行状況について質問した。



こむら まさふみ
小村 政文 議員

(つくば自民党・創生クラブ)



■ 体育館へのエアコン導入を急いで！

(質問) ①体育館のエアコンの導入について伺う。②体育館を誰もが使いやすい施設にすべく、一部でクッション性のある床材を整備するなど、全国の子椅子スポーツの拠点として推進することについて市長の見解を伺う。

(答弁) ①体育館へのエアコン導入については、近年の酷暑による体育館の温度上昇対策として喫緊の課題であると考えている。そのため、スポーツ施設個別施設計画で定めた長寿命化改修工事の際に限らず、部位修繕等の機会も活用し、順次空調設備の設置を進めていく。本年度は、大穂体育館の空調設備導入に向けた設計を行っており、来年度に設置工事を予定している。②車椅子スポーツの拠点となるような施設を造ることは、誰 1 人取り残さないという市政と同じ方向性であり、大変重要だと思っている。市でもパラスポーツをどう取り上げていくかかなり議論してきた。パラスポーツ協会のような団体と連携しつつ必要な施策を行いたい。現状、車椅子スポーツに特化した施設はないが、市の全ての体育館で車椅子での利用を可能にしておき、ありがたいという声をいただくこともある。今後、可能な限り設計された形でのバリアフリー化を進め、ユニバーサルデザインの考え方をもち大規模改修の際などによりよい施設へ転換させていきたい。



(要望) 引き続き、エアコン導入を進めてほしい。

このほか、市役所敷地内でのキッチンカーの出店について質問した。

令和 6 年第 1 回定例会 9 月定例会議議員賛否一覧 (議案などに対して賛否の分かれたものを、議員からの申し出に基づき掲載)

議案等番号	つくば自民党・創生クラブ							自民党政清クラブ					つくば・市民ネットワーク			公明党つくば		日本共産党つくば市議団		つ	緑	清	山	社			
	小村 政文	高野 文男	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵	小久保 貴史	五頭 泰誠 議長	久保谷 孝夫	宮本 達也	木村 修寿	塚本 洋二	飯岡 宏之	鈴木 富士雄	川村 直子	あさの えくこ	小森谷 さやか	皆川 幸枝	浜中 勝美	小野 泰宏						山中 真弓	橋本 佳子	川久保 皆実
認定第 1 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 3 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
認定第 6 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 28 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 33 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議案第 34 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
議案第 36 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×
議案第 37 号	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○
議案第 39 号	○	○	○	○	○	○	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
請願 6 第 6 号	×	×	×	×	×	×	- 欠	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
請願 6 第 7 号	×	×	×	×	×	×	- 欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×

※ [○] は賛成、[×] は反対、「退」は退席、「欠」は欠席、「除」は除斥。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は表決に加わらない。
 ※ 会派名 (議席番号順) つ=つくばチェンジチャレンジ 緑=新緑会 清=清郷会 山=山中八策の会 社=新社会党つくば
 ※ 議決日に欠席した議員 9 月 12 日: 宮本 達也 議員 金子 和雄 議員 久保谷 孝夫 議員 10 月 1 日: 久保谷 孝夫 議員
 10 月 4 日: 久保谷 孝夫 議員

令和 6 年第 1 回定例会 9 月定例会議案等議決結果一覧

報告案件	案件名	議決結果	
【報告第 21 号】 令和 5 年度つくば市一般会計継続費精算について	【議案第 35 号】 つくば市市営住宅条例の一部を改正する条例について	原案可決	
【報告第 22 号】 令和 5 年度つくば市国民健康保険特別会計継続費精算について	【議案第 36 号】 つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	
【報告第 23 号】 令和 5 年度つくば市水道事業会計継続費精算について	【議案第 37 号】 つくば市長の給料の特例に関する条例について	原案可決	
【報告第 24 号】 令和 5 年度つくば市下水道事業会計継続費精算について	【議案第 38 号】 つくば市マンション管理計画認定等手数料条例について	原案可決	
【報告第 25 号】 令和 5 年度つくば市健全化判断比率及び資金不足比率について	【議案第 39 号】 茨城租税債権管理機構規約の変更について	原案可決	
【報告第 26 号】 公益財団法人つくば文化振興財団の経営状況を説明する書類について	【議案第 40 号】 市道路線の認定について	原案可決	
【報告第 27 号】 一般財団法人つくば市国際交流協会の経営状況を説明する書類について	【議案第 41 号】 市道路線の変更について	原案可決	
【報告第 28 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 42 号】 財産の取得について	原案可決	
【報告第 29 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 43 号】 財産の取得について	原案可決	
【報告第 30 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 44 号】 財産の取得について	原案可決	
【報告第 31 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 45 号】 工事請負契約の締結について	原案可決	
【報告第 32 号】 専決処分事項の報告について	【議案第 46 号】 つくば市医療福祉費支給条例の一部を改正する条例について	原案可決	
【報告第 33 号】 専決処分事項の報告について	【諮問第 1 号】 人権擁護委員候補者の推薦について	同意	
【報告第 34 号】 専決処分事項の報告について	【議第 1 号議案】 つくば市地酒等による乾杯の推進に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
案件名	議決結果	委員会提出議案	議決結果
【認定第 1 号】 令和 5 年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	【委第 4 号議案】 つくば市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
【認定第 2 号】 令和 5 年度つくば市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	【委第 5 号議案】 つくば市議会請願条例の一部を改正する条例について	原案可決
【認定第 3 号】 令和 5 年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	請願	議決結果
【認定第 4 号】 令和 5 年度つくば市作岡財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定	【請願第 6 第 3 号】 脳脊髄液減少（漏出）症医療改善を求める意見書を国及び茨城県に提出することを求める請願書	採択
【認定第 5 号】 令和 5 年度つくば市等公平委員会特別会計歳入歳出決算認定について	認定	【請願第 6 第 4 号】 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採択
【認定第 6 号】 令和 5 年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	【請願第 6 第 6 号】 上横場保育所の建て替えを谷田部庁舎跡地に、高見原保育所と城山保育所の統合保育所は高崎幼稚園跡地に建て替えを求める請願書	不採択
【認定第 7 号】 令和 5 年度つくば市下水道事業会計決算認定について	認定	【請願第 6 第 7 号】 つくば市長の給料の特例に関する条例（案）についての請願書	不採択
【議案第 27 号】 令和 5 年度つくば市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について	原案可決	意見書	議決結果
【議案第 28 号】 令和 6 年度つくば市一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決	意見書第 3 号 脳脊髄液減少（漏出）症の医療改善を求める意見書	原案可決
【議案第 29 号】 令和 6 年度つくば市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	意見書第 4 号 教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
【議案第 30 号】 令和 6 年度つくば市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	※以下の請願は審査を継続することになりました。 【請願第 6 第 5 号】 つくば市生活保護業務の適正化を求める請願書	
【議案第 31 号】 令和 6 年度つくば市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決		
【議案第 32 号】 令和 6 年度つくば市水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決		
【議案第 33 号】 つくば市立児童館及びつくば市立放課後児童室条例の一部を改正する条例について	原案可決		
【議案第 34 号】 つくば市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決		



議案の審議
状況と
議決結果



請願
一覧



意見書・
決議一覧

詳細は QR コード参照

傍聴のご案内

つくば市議会の本会議と委員会は公開されており、誰でも傍聴することができます。議会の傍聴にぜひお越しください。



- 発言内容表示ディスプレイを傍聴席の右側前方に設置しています。
- 手話通訳・要約筆記をご希望の方は傍聴予定日の 7 日前までに議会局へお申し込みください。



傍聴についてのご相談は議会局にご連絡ください。

議会局 議会総務課
電話 029-883-1111 (内線 6111・6113)
FAX 029-868-7635



議会中継録画配信

配信ページ



- 本会議（定例会議・緊急会議）の開催時間は生中継をご覧いただけます。
- 本会議や委員会などの、各開催日の 3 日後（休日を除く）以降から録画映像を視聴することができます。

広報広聴委員

委員長	小村 政文	委員	山中 真弓
副委員長	川久保 皆実	委員	小森谷 さやか
委員	宮本 達也	委員	神谷 大蔵
委員	川村 直子	委員	小久保 貴史

会計名		歳入	歳出
【認定第 1 号】 一般会計		1,187 億 6,887 万 1,346 円 前年度比 0.1%増	1,126 億 9,316 万 5,240 円 前年度比 0.3%減
特別会計	【認定第 2 号】 国民健康保険	192 億 2,276 万 3,846 円 前年度比 1.2%増	190 億 4,552 万 2,393 円 前年度比 2.5%増
	【認定第 3 号】 後期高齢者医療	26 億 2,884 万 3,340 円 前年度比 8.3%増	26 億 2,411 万 2,220 円 前年度比 10.2%増
	【認定第 4 号】 作岡財産区	10 万 51 円 前年度比 35.9%増	10 万 51 円 前年度比 96.6%増
	【認定第 5 号】 公平委員会	65 万 3,403 円 前年度比 2.8%減	41 万 8,979 円 前年度比 91.3%増
	【認定第 6 号】 介護保険事業	148 億 8,591 万 8,041 円 前年度比 1.7%増	144 億 13 万 5,207 円 前年度比 2.4%増
【認定第 7 号】 下水道事業会計	収益的収入 および支出 109 億 6,643 万 4,184 円	103 億 5,221 万 8,696 円	
	資本的収入 および支出 33 億 3,957 万 8,275 円	54 億 7,955 万 1,368 円	
【議案第 27 号】 水道事業会計	収益的収入 および支出 62 億 8,604 万 746 円	52 億 5,637 万 1,072 円	
	資本的収入 および支出 18 億 8,527 万 4,303 円	31 億 9,693 万 193 円	

令和 5 年度 決算認定

9 月定例会議で付託された補正予算などに加え、令和 5 年度一般会計歳入歳出決算認定などを審査するため、予算決算委員会および各分科会を開催した。

予算決算委員会審査

議案など詳細



総務文教分科会

【認定第 1 号】 令和 5 年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について



【質疑】 教育費 情報教育振興に要する経費に関して、リーディング DX スクール事業において国からの事業委託金を何に活用したのか

【答弁】 各学校で実践していた取り組みを事例集として各学校に配布するために活用した。

【質疑】 実践事例集の具体的な内容について

【答弁】 ICT 機器を活用した授業実践を事例集としてまとめている。例えば、英会話をする際に子供同士ではなく AI と会話し、臨機応変に AI が対応してくれることで、より上手く会話をするためにどうしたらいいのか、さらに学びを充実させるために生成 AI を使うにはどうしたらいいかを研究した事例がある。

【質疑】 教育費 学校教育活動支援・助成に要する経費に関して、地域との連携による学校の防災力強化推進事業の補助金および防災手帳作製の詳細、地域との連携に対する考えについて

【答弁】 学園単位で消耗品費 1 万円、講師謝礼 5 千円の補助を行っている。防災手帳については全体で 30 万円の予算を別途確保しており、希望調査を基に作製を進めている。令和 9 年度までに全ての学校で作製できる予定である。また、子どもたちもつくばスタイル科の授業で自助や互助について学んでいるので、実践に向けてということも踏まえ、今後も地域との連携を大切にしながら学校を中心とした防災力強化を進めていきたい。

【議案第 28 号】 令和 6 年度つくば市一般会計補正予算 (第 3 号)

【質疑】 繰越金に関して、今回の補正での繰越金額およびそれらの使用先について

【答弁】 当初予算で前年度会計繰越金を 15 億円予算化し、事業の財源としており、25 億 8 698 万円円を増額補正し、補正後残高として 40 億 8 698 万円が予算額である。繰越金の増額補正分の内訳は、一般財源の不足分が 9 億 1 769 万 2 千円と基金の積立金が 16 億 6 928 万 9 千円である。積立金の内訳は、中根・金田台地区小学校の新設、みどりの南小学校・中学校の増設事業のための学校教育施設整備基金と、つくばピオやメモリアルホール等の長寿命化工事に活用する公共施設整備基金である。

福祉保健分科会

【認定第 1 号】 令和 5 年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について



【質疑】 民生費 在宅高齢者等福祉に要する経費に関して、高齢者電動アシスト自転車等購入費補助事業の内容、講習会の参加状況及び補助金の申請状況、事業の周知方法について

【答弁】 交通安全講習会の受講を必須とした補助事業であり、講習会の定員 560 人に対し、前期分は 200 人の定員をほぼ満たした状態だが、後期分は定員に達しなかったため、対象年齢の引き下げを行った。運転免許証返納から 1 年度以内の申請は補助額上限が加算される。今年度の講習会は前期分 280 人の定員中、参加者は 140 人であり、補助金の申請は 118 件、そのうち免許返納による加算は 21 件あった。周知は、市ホームページ、広報つくば 5 月号への掲載、広報つくば 9 月号に折り込みのガイドブックへの掲載、民生委員定例会での説明、市内の自転車販売店でのポスター掲示を行っている。



交通安全講習会の様子

【質疑】 衛生費 休日緊急医療に要する経費に関して、休日夜間デジタル急患センターの詳細について

【答弁】 アプリを利用して医師によるチャットの医療相談とオンライン診療が受けられるもので、0 歳から中学 3 年生を対象とし、小児クリニックが閉まっている時間に実施する。医療相談は無料、平日は 18 時から翌日 9 時、休日は 24 時間利用できる。オンライン診療については、平日は 18 時から 22 時、休日は 9 時から 22 時までの実施を考慮しており、通常の診療料金はかかるが、小児マル福を利用する場合の自己負担は 600 円である。年内の開始を考慮しているが、医師会や医療機関との協力が可能なため、開始時期が遅れる可能性もある。また、アプリ上で PDF 等により処方箋を配布できるため、薬の処方も可能である。

市民経済分科会

〔認定第1号〕 令和5年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

〔質疑〕 衛生費 管路輸送施設の管理に要する経費に関して、執行率が低い理由について

〔答弁〕 吾妻2丁目の筑波大学職員宿舍跡地の埋設管撤去について、予算を計上したが、職員宿舍の建物解体撤去と併せて、筑波大学が工事全体を実施し、かかった費用のうちの埋設管撤去分をつくば市が支払う形で行ったため、費用を大幅に削減できた。埋設管撤去の工事が昨年度12月から2月にかけて実施され、3月補正による減額ができなかったため、大きな不用額となった

〔質疑〕 労働費 雇用促進対策に要する経費に関して、執行率が落ちた理由について

〔答弁〕 令和5年9月に補正予算にて計上した男性育児休業取得奨励金の交付件数が見込みよりも少なかったことによるものである。

〔質疑〕 執行率を上げるための対策について

〔答弁〕 現在は、育児休業をとった男性労働者がつくば市民であることを本奨励金の要件としているが、事業者支援の観点から、市外在住の男性労働者が育児休業を取得したケースについても対象とする方向で検討をしており、今後制度に反映していきたいと考えている。

〔意見〕 地域の商店や農業に対する支援など、独自の方策を行うには予算を拡充した方がよい。より細かい独自の支援があるといい。

〔議案第28号〕 令和6年度つくば市一般会計補正予算(第3号)

〔質疑〕 農林水産業費 環境にやさしい農業推進に要する経費に関して、オーガニックステップアップ事業補助金の内容について

〔答弁〕 本補助金は、県内での有機農業の取組拡大を支援する補助金である。今回は市内の農業経営体から申請があり、有機JAS講習会の受講に要する費用と有機JAS認証費用に係る経費について県から内報があり、補正予算を計上している。



都市建設分科会

〔認定第1号〕 令和5年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

〔質疑〕 民生費 空き家対策に要する経費に関して、市のパンフレット「つくば市空き家対策」の発行部数、配布場所および配布方法について

〔答弁〕 空き家対策冊子の令和5年度発行部数は2000部であり、8月に市内の空き家所有者約900人へ冊子を郵送している。そのほか、住宅政策課窓口、庁舎2階のおくやみ窓口や各窓口センターで配布している。

〔議案第27号〕 令和5年度つくば市水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算認定について

〔質疑〕 水道未普及地域の幹線布設工事の進捗率について

〔答弁〕 令和5年度末時点での水道未整備地域への幹線管布設工事の進捗率は39.3%であり、令和元年度から10年間計画で進めているところ若干の遅れが生じている。理由としては、材料費等の高騰で予定数の工事が発注できなかったことや、競合工事などの調整により発注を先送

りにしたためである。今後の幹線整備の計画として、令和8年度までに吉沼地区、真瀬地区及び島名地区を整備し、令和10年度末までに作岡地区、菅間地区及び谷田部地区等の整備を進めていく予定である。

〔質疑〕 資金残高が令和5年度予定よりも増加しているため、水道未整備地域への工事を前倒しで進めることの可能性について

〔答弁〕 令和5年度決算で現金預金残高が約22億2330万円と水道事業経営戦略における計画よりも増加しているのは、建設改良事業の一部が完了せず繰越して支払いが翌年度となり、資金が一時的に残ったことによるものである。繰越しとなった主な事業は、中央配水場のポンプ更新工事や君島配水場の電気計装設備更新工事などで事業費を合計すると約8億4千万円となる。これらの事業費の支払いに充てる資金を除くと、資金残高は約14億円となり、未整備地域の工事を前倒しできる資金は確保できていないため、現状では工事の前倒しは考えていない。



予算決算委員会

〔認定第1号〕 令和5年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

▼審査結果Ⅱ認定すべき

〔反対討論〕 年度内に集めた地方財源は年度内に市民に還元するのが原則である。剰余金が16億円もあったが、全て基金に積み増した。税収が増えているつくば市に貯蓄は必要なく、この剰余金で給食費無償化が実施可能と考える。まだ市民ニーズに応える予算組みではなく反対する。

〔賛成討論〕 つくば市未来構想で掲げる持続可能都市の実現のため、必要な施策を着実かつ効率的に実施してきたと認められる。財政調整基金の活用については、法人市民税の減収への対応などに効果的に使用しつつ、健全な財政運営を持続するための残高を維持していると評価できる。多様なニーズに積極的に対応したものと考え、賛成する。

〔認定第3号〕 令和5年度つくば市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

▼審査結果Ⅱ認定すべき

〔反対討論〕 75歳以上の高齢者を切り離れた後期高齢者医療制度は差別医療だと反対してきた。

窓口負担が2倍になるなど、大変重い負担であるため反対する。

〔賛成討論〕 少子高齢化が進み被保険者が増加する中、公費や現役世代からの支援金のほか、後期高齢者の保険料負担によって適切な医療の給付を行うために必要な財源を確保し、安定した制度が運営されていると考える。以上のことから、後期高齢者医療特別会計は適正に執行されていると認められ、賛成する。

〔認定第6号〕 令和5年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

▼審査結果Ⅱ認定すべき

〔反対討論〕 第8期高齢者福祉計画の中で介護保険事業の見直しがあり、令和4年度は基金を取り崩し、保険料の値上げを抑えたことは評価する。しかし、おむつ券の補助に対して独自の補助対象者の拡充を廃止し、多くの高齢者が外されたことで反対をしてきたため反対する。

〔賛成討論〕 全国的に高齢者人口の増加が続き、介護サービスの需要はさらに高まると見込まれ、地域全体で高齢者を見守り、支援する体制の強化が重要である。その中で、国、県などの交付金の活用や適切な保険料収入により財源を確保し、安定的に運営されていると考え、賛成する。

委員会審査



総務文教委員会

【議案第39号】茨城租税債権管理機構規約の変更について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 どのくらい納税の遅延があった場合に茨城租税債権管理機構に税の徴収を委託するのか

【答弁】 現年度中に督促や催告を行っても収納されなかった滞納繰越分を移管している。

【質疑】 今回の規約の変更に至った経緯について

【答弁】 国税である森林環境税は、住民税と一緒に賦課徴収すると法律上決まっております。茨城租税債権管理機構が市と合同で滞納整理をすると茨城租税債権管理機構でも国税を扱うことになるため今回の変更に至った。

福祉保健委員会

【請願6第6号】上横場保育所の建て替えを谷田部庁舎跡地に、高見原保育所と城山保育所の統合保育所を高崎幼稚園跡地に建て替えを求める請願書

▼審査結果 不採択とすべき

【質疑】 谷田部庁舎跡地と高崎幼稚園跡地を候補地から外した経緯について

【答弁】 谷田部庁舎跡地は、谷田部小学校の改築を最優先に地域に資する活用方法を検討しており、方策決定までに時間を要するため、上横場保育所の移管先の候補地から外した。高崎幼稚園跡地は、駐車場確保が難しいことや、茎崎第一小学校の通路路として安全が懸念されるため利用しないこととした。

【質疑】 仮に公立保育所として建て替える場合、請願項目にある2箇所は用地として適切ではないという判断をしたのか

【答弁】 民間移管、公立運営に関わらず、両跡地は利用しない方針である。

市民経済委員会

【議案第42号】財産の取得について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 ウェルネスパークのLED照明器具の交換箇所はどこか

【答弁】 照明だけのものもあれば、照明器具の根本からすべて交換するものもある。ドッグランを除き、ウェルネスパークの管内全てをLED化するものである。

【質疑】 LED化によってどの程度の電気料の削減になるか

【答弁】 電気料自体は、およそ3分の1程度になると想定している。確かな数字はないが、一定以上の効果はあると考えている。

都市建設委員会

【議案第36号】つくば市水道給水条例の一部を改正する条例について

▼審査結果 可決すべき

【質疑】 前回の水道料金値上げ以降の各年度の剰余金額について

【答弁】 剰余金額の推移は平成30年度約28億6千万円、令和元年度約35億3千万円、令和2年度約41億9千万円、令和3年度約44億8千万円、令和4年度約44億2千万円、令和5年度約50億8千万円である。

【質疑】 上下水道審議会で今回の料金改定に関し起債のことや前回の水道料金改定以降利益が予定より発生していることなどについて議論があったか

【答弁】 今回審議会会長からもそのような意見も含めて値上げありきではない適正な料金のための審議会を実施していくとの意向があった。水道料金の利益等も考えて審議いただいた。

議案等審議



【議案第37号】つくば市長の給料の特例に関する条例について

原案可決

【賛成討論】 提案理由として、市長の2期目の退職金支給額に市民評価を反映するため、市長の任期満了日における給料額をインターネット投票での市民評価の結果に応じて決定する。第2条では、個人番号カードの交付を受けている者が評価を行うこと、つくばスマートシティアプリを用いるなどとされている。公平性などの観点から、個人番号カードの交付を受けていない方やインターネット環境のない方が市役所や各窓口センターなどで投票できるようにしてほしい。また、設問はテーマごとに分け、バランスよく投票できるようにしてほしい。筑波研究学園都市は最先端科学の研究を行う地として建設された。この投票はインターネット投票の実証実験の意味合いもある。課題を抽出し、よりよい形にすることが科学のまちつくばの務めと考え賛成する。

【反対討論】 令和2年9月定例会で市長の退職金を約2千万円から22円に減額する条例案が可決

された。初当選時に掲げた退職金を1期ごとに2千万円、3期で6千万円の廃止の公約は、1期目は実現したが、その後、ホームページの市長のロードマップからは消えてしまった。なぜ公約を変えたのか。退職金の廃止と金額を市民の評価で決めるといふ考えは別のものである。マイナンバーカードの交付を受けた15歳以上の市民で、つくばスマートシティアプリをダウンロードしている人数は約1万9千人のことだが、その人数で市長の退職金を決めることは公平でない。また、投票者の意見が全市民の意見であるかも定かでない。実施するならば結果に投票率を乗算すべきである。公約どおり退職金はもらわないだけでいい。選挙パフォーマンスという意見も多くあり、反対する。

【請願6第6号】上横場保育所の建て替えを谷田部庁舎跡地に、高見原保育所と城山保育所の統合保育所を高崎幼稚園跡地に建て替えを求める請願書

【反対討論】 市は令和3年に「つくば市公立保育所の新耐震基準を満たさない施設の整備方針」を示し、新耐震基準を満たさない9施設のうち7施設を民間移管する方針を示した。障害があ

るなど特別な配慮が必要な子どもが入所を希望した場合、保育士の増員につながるために民間保育所では断られることがあるが、公立では人員を増員し入所できるようにするなどセーフティーネットの役割を果たしている。また、公立保育所は保育の質や方針を市の附属機関や議会などが確認し、透明性と保育の質を確保しているほか、保育士が公務員の給与体系のため、安定した保育を実施できる。今の保育所整備方針では、若い世代が多い高見原近辺に公立保育所がなくなる。以上のことから、現在の整備方針を見直し、谷田部地区と茎崎地区それぞれに公立保育所を再整備する請願の趣旨に賛成する。

【賛成討論】 今回の請願内容が採択され整備計画を見直した場合、早急に子どもたちの安全を守るための整備という趣旨から逸脱することになる。加えて、谷田部庁舎跡地の利用については、地域に資する利活用の検討が進められており、方策決定までには時間がかかると思われる。また、高崎幼稚園跡地の利用については、子ども・子育て会議でも指摘があった交通環境における児童の安全性の確保などの懸念が残る。以上のことから、現在の各個別整備計画のとおり進めるべきであり、候補地を特定した今回の請願については反対する。

特別委員会中間報告

特別委員会は、2つ以上の常任委員会にまたがる事件または特に重要な事件を審査・調査する必要がある場合に、議会の議決により設置されます。

ジオパーク推進 特別委員会

筑波山地域ジオパークは、平成28年に日本ジオパークとして認定されました。その後、再認定に向けた取り組みが行われ、令和2年度に再認定を受けました。また、令和5年度につくばジオミュージアムが開館しました。

ジオパーク推進特別委員会は、中核拠点施設や他自治体の取組について協議や研修、現地視察を行ってきました。令和5年9月には「筑波山地域ジオパーク中核拠点施設に関する提言書」を市長に提出し、施設の充実への対応を確認しています。また、箱根町と伊豆市の施設を視察し、展示や施設整備、スタッフの対応などを調査しました。両施設共に体験型の展示が多く、実際に触れることで地域の特徴を感じることができ、同様の取り組みで筑波山地域ジオパークの魅力も広げると感じています。



中核拠点施設

体験型の展示

地域の特徴を感じる



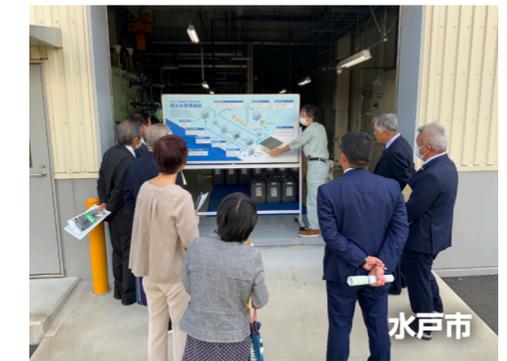
中間報告書はこちら

最終処分場に関する調査 特別委員会

最終処分場に関する調査 特別委員会

つくば市は最終処分場を有しておらず、民間処分場で埋め立てや再資源化を行っています。しかし、令和3年に委託していた民間処分場から年度内に埋め立てができなくなるという連絡があったため、受け入れ可能な最終処分場の早急な確保を余儀なくされました。現在は、4県の民間事業者による最終処分場の搬入と2事業者による再資源化のための搬入を行っています。市民からの不安や安定した適正処分を望む声により、つくば市最終処分場の調査研究を目的とした特別委員会が設置されました。

特別委員会は7回の委員会を開催し、執行部の説明を受けて経過や現状を把握し、協議を重ねてきました。また、最終処分場の必要性や安全性、建設候補地の選定経緯や整備概要について、宇都宮市と水戸市の施設に先進地視察を行いました。また、令和5年度に行われた「5つくば市最終処分方法検討支援業務委託」事業について、最終処分方法の調査・比較結果報告を受け、調査内容や結果に関する確認や質疑、意見交換が行われました。



設置の必要性

施設の安全性

候補地の選定



中間報告書はこちら

スポーツ施設調査 特別委員会

スポーツ施設調査 特別委員会

スポーツ施設調査特別委員会は、既設のスポーツ施設に関する調査と研究を目的として設置されました。設置以降、3回の委員会を開催し、担当課から市内施設の状況説明を受け質疑を行ったほか、市内施設を現地視察しました。市内のスポーツ施設は、市合併以前の古い施設が多く、修繕や維持管理を行っているもの、老朽化が進んでいる状況で、特に最近の猛暑への対策が喫緊の課題と認識されました。

そのため、福島県いわき市総合体育館・陸上競技場や埼玉県上尾市市民体育館など、空調整備に関する先進事例を視察しました。公共体育館や学校体育館は、スポーツ利用以外にも集会や災害時の避難所として利用されることも想定されます。災害は季節を問わず発生する可能性があるため、避難者の生活環境の改善は重要な課題であり、視察した施設では、素晴らしい空調設備が整備されていました。



猛暑への対策

空調設備の整備

集会や避難所での利用を想定



中間報告書はこちら

予 算 決 算 委 員 会

令和 5 年度の決算審査で選定した市の事業に対する政策提言を、令和 7 年度の事業へつなげます！

つくば市議会は、平成 27 年 4 月に、つくば市議会基本条例を制定しました。この条例の特徴の一つとして、議会は「政策立案、政策提案及び政策提言」を積極的に行うということがあります。このことは、施策のチェックと共に、今後、議会により求められることだからです。そして、そのことを実現するために、市議会に設置したのが、予算決算委員会になります。委員会では、毎年 9 月議会において前年度の決算を審査し、翌年度の予算編成に反映させる事を目的に、委員会の元に設置した四つの分科会で、「提言」を作成して、市長に提出しています。その後、市から提言に対する対応が示され、翌年の 2 月議会において、各分科会で提言に対する対応を含めた予算審査を行い、決算から予算につなげるマネジメントである「政策サイクル」を行っています。こうした「政策サイクル」をしっかりと、委員会審査の中に位置付けていくことで、市民本位の立場から、様々な課題の解決をつくば市議会は図っています。今後とも、議会基本条例に基づき、市民の多様な意見、要望の把握に努め、市民福祉の向上と市政の発展を目指してまいります。

● 決算審査から予算編成チェックまでの流れ ●



● これまでに選定した事業 ●

- 総務文教分科会 (旧 総務分科会)**
- 令和 5 年度 ▶ 魅力発信事業 ▶ 図書館運営事業
 - 令和 4 年度 ▶ 財政調整基金
 - 令和 3 年度 ▶ SDGs 推進事業 ▶ RPA、AI-OCR 等の活用による業務 ▶ 効率化推進事業・財政調整基金
- 福祉保健分科会 (旧 文教福祉分科会)**
- 令和 5 年度 ▶ 母子保健指導 (あかちゃん訪問・養育支援訪問・産後ケア事業) に関する事業
 - 令和 4 年度 ▶ 不登校児童生徒学習支援事業
 - 令和 3 年度 ▶ 高齢者タクシー運賃助成事業 ▶ 不登校児童生徒学習支援事業
- 市民経済分科会**
- 令和 5 年度 ▶ 森林保全に要する経費
 - 令和 4 年度 ▶ つくば市低炭素推進補助事業
 - 令和 3 年度 ▶ 新型コロナウイルス感染症経済対策に要する経費 ▶ 新型コロナウイルス感染症対策観光支援に要する経費
- 都市建設分科会**
- 令和 5 年度 ▶ 空き家対策事業・水道事業
 - 令和 4 年度 ▶ シェアサイクル実証実験事業 ▶ 周辺市街地活性化事業 ▶ 空き家対策補助事業
 - 令和 3 年度 ▶ 地域拠点活力共創マネジメント事業 (周辺市街地振興) ▶ ごみ分別アプリ事業

編集後記

メンバー丸となって新しい挑戦を重ねた委員会でした。これからも新体制の広報広聴委員会の活動にどうぞご期待ください！ありがとうございました。 広報広聴委員会一同

下記 QR から改善アイデアをいただけた時がすごく嬉しかったです

市議会だよりの改善、新体制でさらに進めていきたいです！

改善すべき事があり、もっと皆さんの声を頂きたいです。

広報と広聴、別々に取り組む他自治体議会もあり。つくばでもやれたら！

分かりやすい議会報告、紙面づくりに今後も取り組んでいきます！

もっと分かりやすく、親しみのある議会を創っていきます！

議会の取組みをもっと知ってもらえるよう工夫していきたいです！

議会での内容がわかりやすい紙面工夫を続けていきます！

市議会だより改善アイデアを募集中です！投稿はこちらから！

